

# 夢あわせ

2023

3

Vol.368

JA Matsumoto Highland



特集1 支所運営懇談会 意見に対する回答

特集2 営農生活くるま座集會 意見要望事項への回答

## 2022フォトコンテスト SNS部門 グランプリ



タイトル 夕焼け空とそば畑 そばの花が満開です

SNSで旬な情報を発信しています



JA松本ハイランド



農業夢追人 中山寿・赤木 山本幸恵さん

# あこがれを現実に



トレー一つひとつにいねいに播種作業



「おかえりなさい。気をつけて帰ってね」と下校する児童に笑顔で手をふる山本さん。「子どものころ、学校帰りに畑で家族が出迎えてくれる光景にあこがれていたんです」とはにかみます。

これまで子育てや仕事に奮闘してきましたが、子どもが成長して自分の時間が持てるようになったことを機に、「当時あこがれていた光景を自分でつくりたい」と無農薬菜園を始めました。登下校する児童たちを見守りながら、ときには息子やその友だちといっしょに農作業や収穫など、昔あこがれていた光景を実現。楽しみながら農業に取り組みうちに、「もっと本格的に農業がしたい」と就農を決意しました。白ネギ農家での手伝いやJAや松本市などが支援する「松本新規就農者育成対策事業」を活用した3年間の研修などを経て、昨年11月に独り立ち。現在は白ネギとパプリカの栽培に取り組みます。「育苗期が大切ということがだんだんわかってきました」と研修で培った経験をいかし、いねいに播種作業に打ち込む姿は真剣そのもの。「土はトレーの隅々までいねいにかぶせる。水は最初にたづぶりと与えて、あとは発芽までじっと待つ。そうすると一斉に芽が出て、生育がそろったいい苗ができるんです。種をまいて芽が出てくるいまの時期が一番わくわくしますね」と発芽を待ちわびます。

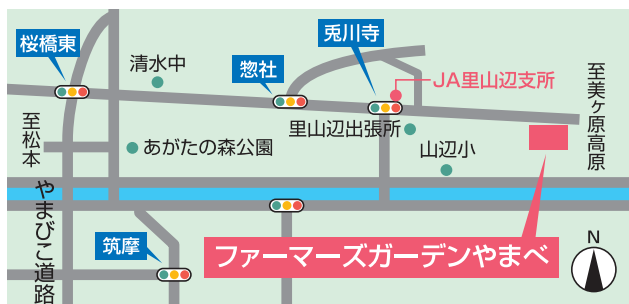
新米農家として大きな歩を踏み出した山本さん。「いまは出荷規格にそったものをしっかりとつくりつづけることがひとつの目標。そのうえで、将来的にはわたしのようにな農業に興味のある人が気軽に農業と触れあえる場所をつくっていかたいいなと思っています」と大きな夢にむかって今日も挑みつづけます。



待望の芽生え

## Profile

白ネギ40アール、パプリカ0.2アールを栽培する。直売所への出荷をする際などに使っている「GiGuRiRoの庭」の名前とロゴのデザインは息子さんの発案。趣味は和太鼓で、チームに所属し週3日の練習に打ち込む。チーム内で女性2人の和太鼓ユニットを結成し、農業の合間をぬって演奏をこなす。



〒399-0222 松本市入山辺1315-2



ファーマーズガーデンやまがた ... ☎98-5231	8:00~17:00	} 月曜定休 (1月~3月)
あかしな ... ☎62-1230	8:00~17:00	
うちだ ..... ☎88-3012	8:00~17:00	
やまべ ..... ☎32-3644	8:30~17:00	木曜定休 (1月~3月)
畑の彩り館きろろ..... ☎92-6003	9:00~18:00	月曜定休
新鮮市場ききょう..... ☎52-1965	8:30~17:30	水曜定休 (1月~3月)

おいしい発見!

# 旬を探しに ファーマーズへ

旬菜NAVY ファーマーズガーデンやまべ

いつもご利用ありがとうございます。当店では新鮮な野菜、くだもの、加工品などを販売しております。いまの時期は山辺産のイチゴ「あきひめ」がオススメ。果実がやわらかく果汁が豊富で酸味が少ないため、甘みをしっかりと感じることができます。みなさまのご来店を心よりお待ちしております。

※1月~3月までは毎週木曜が定休日になります。(3月23日は営業です)

## 職員採用試験日程のご案内

### 令和6年度新規採用職員試験

**応募受付** 「リクナビ2024」当JAページよりオープンエントリーシートを提出してください。

**受付締切** 令和5年3月31日(金)17時必着

**試験日程**

- 筆記試験 令和5年4月10日(月)14日(金)のいずれかをエントリー時に選択
- 一次面接 令和5年5月中旬
- 二次面接 令和5年5月下旬



※詳細は「リクナビ2024」でご確認ください

### キャリア採用試験

**応募書類** 履歴書・職務経歴書

**受付締切** 令和5年3月31日(金)17時必着

**試験日程**

- 筆記試験 令和5年4月10日(月)
- 面接試験 令和5年5月中旬

※詳細はホームページのリクルート情報でご確認ください

**募集職種** 事務・販売・営業(営農・金融・共済・経済・管理部門の業務) 技術系業務(営農指導員・畜産技術員・自動車/農機具の整備)

**勤務地** 松本市、塩尻市および安曇野市の一部、東筑摩郡の管内

お問い合わせは人事教育課(☎0263-88-1231)まで。



## 意見に対する回答

令和5年度事業計画などの検討を目的として、2月6日から13日かけて「支所運営懇談会」を18会場で開催し、総代や組織代表者など279人が出席しました。ここでは、懇談会で出された主な意見に対するJAの回答を掲載します。

### 農業振興

**意見**  
松本ハイランド産のすいかについて、小玉すいかの生産に力を入れたらどうか。

**回答**  
小玉すいかの需要が高まっておりますので、今後も消費動向を加味しながら、軽量品目として小玉すいかの生産振興に努めてまいります。

**意見**  
原材料価格が高騰し、食品価格が大きく値上がりしているが、肥料や資材等が価格高騰しているにも関わらず農産物価格が上がらない。JAグループ全体で農産物の価格転嫁ができる体制を構築してほしい。

**回答**  
取引先に対して価格転嫁の実現に向け価格の見直しを要請しております。更に生産資材コスト抑制については、JAとしても対策を進めると共に、農政運動としても継続して発信してまいります。

**意見**  
農政拠出金の拠出方法を見直すべきではないか。個別割、面積割、販売額割の基準は妥当なのか。また、県域への拠出金が400万円近くあるが、多額ではないか。

**回答**  
農政拠出金額は過去より協議を重ねながら現在の拠出基準が設定されていますのでご理解願います。今後とも社会情勢や農業、農政の抱える課題や実情を踏まえ、拠出基準が適正であるか検討してまいります。なお、県域への拠出金は県段階におけるJAグループの農政活動、更に全国規模への負担金として支出されており、近年では「コナ禍」における「高収益作物次期作支援交付金」や令和4年度の「肥料価格高騰緊急対策事業」はJAグループとして全国規模で農政活動の展開により実現した農家支援策です。今後も持続可能な農業農村づくりや食料安全保障の確立、農家所得の向上などの農政活動を展開いたします。

**意見**  
事業方針における「市場流通販売の強化」の「青果物輸送規制」とはどのようなものか。また、農家にとって輸送運賃が上がると手取りが減少することが予想される。

**回答**  
働き方改革関連法により2024年4月より輸送業への法改正が施行され、時間外労働時間への制限や、1日の労働時間等が変更されます。この法改正により1回の輸送距離の制限や労働時間の減少による人材不足、トラック便数の減少等が想定されます。JAとして法改正に対応するため、現在の馴染み市場を見直し、1市場への輸送ロット拡大等の効率的輸送を進める為の対策を検討中です。輸送効率を上げて輸送運賃の抑制につなげていくためにも、今後は計画的な集出荷を含め、輸送対策は各部会を通じてお繋ぎいたします。

**意見**  
農産物の市場出荷以外ではインボイスの特例が受けられないと聞かすが、契約の加工ぶどう等も特例が受けられるよう関係機関に要請願いたい。

**回答**  
インボイス制度で認められている特例の一つとして「農協特例」があります。「無条件委託方式」による販売で、その代金を「共同計算方式」により精算することが要件です。現在市場出荷以外の取引は、契約書を含む実態確認を行い、特例対象の可否について検討し、取引先（小売り、業者等）との話し合いを行ってまいります。また、全農長野との三者契約についても、連携を図り働き掛けを行ってまいります。



地域の暮らしへの貢献

**意見**  
灯油の価格は、量販店と比較すると10円〜20円高い。キャッシュバックなど対策は考えていないか。

**回答**  
量販店とは運営形態の違いにより価格差が生じています。店頭販売は市況価格を調査し、配達灯油は中信地区他JAの価格と配達専門業者の価格を参考に価格設定しています。

**意見**  
なお、配達灯油は、ローリー車の維持費、車両燃料代等のコストがかかるため、店頭販売価格より高く設定しています。また、キャッシュバックは計画していませんが、農業用施設に利用する灯油と重油の価格対策を実施しています。

**意見**  
宅配は、生協の利用者は増加しているがJAは衰退している。生協は、チラシを見て頼めば翌週には配達となるから利用者が増えていると思う。JAは2週間もかかるのはなぜか。

**回答**  
宅配注文書のお届けから配達まで2週間かかりますが、注文書の回収日からは最短で1週間、長くても1日でお届けしています。なお、現在県下JAグループとして宅配事業の見直しを検討していますので、詳細が決定的次第で報告させていただきます。

**意見**  
新型コロナウイルス感染症収束後に、旅行事業を元に戻す予定はないか。JA松本ハイランドの事業として取り扱ってほしい。

**回答**  
当JAの旅行事業は、令和4年3月末に株農協観光との旅行者代理業契約の解除し、長野県へ事業廃止の届出をしています。現時点では当JAとして旅行事業を再開する予定はございません。現在は株農協観光への取次を行っています。旅行事業者としての活動は引き続きご理解をお願いいたします。

**意見**  
支所別損益計算書の開示は可能か。支所全体の収支が赤字にならないければ、赤字部門の事業について継続すると考えてよい。JAの目的は「組合員と地域の皆さまの営農とくらしを守る」こととあり、「一般企業と同様に赤字部門を切り捨てるのであればJAではない。このことから、「組織基盤・経営基盤の強化」に相対するのではないか。

**回答**  
支所別損益計算書は事業検討などの場において、必要に応じて限定的に提示することは可能と考えます。

**意見**  
「組合員と地域の皆さまの営農とくらしを守る」ためには、収支財務の健全性を確保するうえでの「経営基盤の強化」が必要であり、経済事業においても収支均衡が求められます。赤字事業であるから直ちに事業の廃止ではなく、多角的総合的に経営分析をして、収支改善策や今後の事業運営のあり方を組合員の皆さまに提示して、協議をすすめてまいります。

**意見**  
令和4年度の計画値と決算推定値の乖離が余りにも大きいのと感じている。

**回答**  
令和5年度の事業計画は、推定比率ではなく、令和4年度の計画と推定の実数値や令和にじプラン中期3カ年計画との差異要因について記載して欲しい。

**意見**  
通常総代会の開催にあたり、財務諸表の計画比・前年比や、一定の推移を記載した参考資料の作成について対応願いたい。

**回答**  
JAを取り巻く社会情勢の変化等を踏まえて計画策定していただきます。令和4年度の決算推定は組合員の皆さまの事業利用による結集や、管理コストの抑制リスク管理債権の流動化等により計画を上回る事業利益となりました。各事業計画は、分かりやすい資料作成提示に努めてまいります。

**意見**  
決算書類(通常総代会資料)は農協法施行規則に基づき作成しております。本年度から会計監査人監査の監査項目において、会社法で定める決算報告書類は簡略化されていることから、通常総代会資料の補足資料として主要数値を記載した別冊資料を作成してまいります。

**意見**  
女性総代の割合が25%以上としているが、70代〜80代の選出に苦慮している。男性正組合員の配偶者を正組合員扱いにするなど、女性参画を促す制度改革が必要と思われる。

**回答**  
また、女性総代の25%以上の数値根拠をお示しいただきたい。

**意見**  
合併前は、女性部の部員として、女性課長の意見等が浸透してきて動きやすかった。今後も、部員を引っ張ってくれる女性の管理職を積極的に増やして欲しい。

**回答**  
組合員加入は、配偶者も含め家族での複数組合員化を勧め、JA組織での複数組合員化への女性参画を行っています。女性総代は、女性の声を反映した事業運営の実現に向けて、平成17年度総代改選時に100名を目標に取り組みはじめ、令和2年度改選時には193名(21%)となりました。また、現在は正組合員の女性比率が30%を超え、より一層の女性が活躍できる組織をめざして25%以上としました。

**意見**  
当JAでは、女性職員が働きやすく、能力を發揮できる職場を目指して行動計画を策定し取組みをしております。令和5年度は女性管理職の割合向上を目指し、管理職登用試験への受験勧奨、キャリア形成動機付け研修等に取り組んでまいります。

# 営農生活くるま座集會 意見要望事項への回答

活力ある農業生産をすすめるため、営農生活くるま座集會を開催しました。  
集會で出された主な意見・要望に対するJAの回答を掲載します。

## 総務企画部・営農部・経済部

**Q** 予約注文書の回覧など、回収数が少なく無駄が多い。回覧等で注文書が欲しいかたはJA窓口へきていただいたり、資材渉外が推進したりした方が経費の削減ができるのではないか。



**A** 農家組合回覧については過去からご意見をいただいておりますが、今後につきましてはホームページやハイランドアプリなども活用した情報発信や新たな受注方法についても検討してまいります。令和にじプラン中期3カ年では、組織基盤強化をはかるため「農家組合を核とした多面的機能の発揮」に取り組みますが、そのなかで農家組合回覧のあり方についてもあわせて検討してまいります。



## 営農部

**Q** 農業振興ビジョン(本所版)について、基本方針の内容が抽象的であり変わっていない。具体的な取り組み内容や改善策も記載し、理解できる内容としてほしい。



**A** 農業振興ビジョンは情勢などを反映させ適宜修正しておりますが、「本所版」は広域で多品目、多種多様な地域性を有していることからどうしても抽象的な内容となっております。地域の具体的な内容につきましては、支所版(地区版)で地域ごとの課題や対策、めざす方向性についてお示ししておりますので、組合員のみならずまからの積極的なご意見をお願いいたします。



**Q** 利用会計の収支計画の根拠について、理事や常勤などの検証・監査などは行われているか。(どの部署で行っているのか)



**A** 利用会計における収支計画の策定にあたっては、常勤理事の検証をつけ、それぞれの運営委員会などで検討し承認いただいております。監事監査、内部監査では、事務処理の適正性について確認しております。



## 経済部

**Q** 給油所の価格がほかのスタンドに比べるとJAは高い。エネキーやシートクーポンなどの値引き方法を知らない人が多い。もっと効果的なPRをしたり、組合員特価の設定なども考えてほしい。



**A** セルフ給油所とフルサービス給油所では値引き方法が異なるため、給油所ごとに店頭告知や独自チラシによるご案内をしております。今後もお得な情報のPRを店頭ばかりではなく広報誌などでもご案内させていただきます。また、これまで通り週一回の特売日を設けておりますのでご利用いただくとともに、当JA発行のENEOSカードは、一般のENEOSカードより円値引きとなっておりますので発行に関するお問い合わせは各給油所へご相談ください。





Q 新たな農機の拠点体制では、当初各地区に不便をかけたということであったが、職員が諦めたことによる人員不足で、必要な時に職員がなかなか来ない。農家にとって、修理やメンテナンスが一番頼りにするところであり、野菜面積の拡大を謳っているなかで、ほかに新規生産者が増えてきた場合、今後更なる対応不足が予想される。「困ったときに助けてもらえるから」こそ次に繋がる」ということを理解してもらいたい。売って終わりではなく、人員の補充を行い、修理やメンテナンスなどアフターフォローの体制を整えていただきたい。

A 修理が重なりご迷惑をおかけする場合があります。新体制当初より担当者が減ったことが課題となっておりますので、まずは人材確保を優先し、それを解消した上で、迅速な修理対応及びアフターフォローなどサービスの向上に努めてまいります。次年度は技術系の新卒採用者を予定しておりますが、今後も通年技術系職員の募集を継続して行っていく予定であります。

Q 農業機械購入者に対する定期点検等の個別案内を実施し、営業強化が必要と考える。(昨年も同様の内容を提言し、その後検討されたのか質問)

A 一般修理は件数が多いことから一部の履歴しか管理していない状況でしたが、令和5年度からは全センターに利用者管理システムを導入いたしますので、データ整備をすすめることも、点検事前整備などのご案内をさせていただき、営業強化に努めてまいります。

Q 自動車部門について、これまで農協の自動車担当者から車の購入や車検の営業をうけたことがない。これまで農協で車を購入したことがないため農協での取り扱い情報がないかもしれないが、組合員に農協の自動車部門のよさをすすめるのが、その部門の担当者の役割ではないのか。車検はどこのうけてもいいと考えているが、営業も来ないし、担当者もわからない。組合員に対する自動車の営業体制はどうなっているのか。顔を出してもらえれば、いつでもうける。新規の利用者を取り込む努力をしてもよいのではないか。自動車部門の組合員に対する営業方針はあるのか。また、自動車や農機の担当者が辞めていると聞く。技術を持っている職員が抜けてしまわないように、技術ある職員やがんばって営業した職員への待遇改善などはできないものか。

A 組合員みなさまへの情報提供が行き届いていない点については真摯に受け止め改善に努めてまいります。自動車事業は、松本・波田・筑北塩尻の4センターにそれぞれ営業担当者を配置しており、既存利用者への深耕を中心に役職員からの新規案件の紹介、また、年3回展示会を開催しながら営業活動を行っております。現状はコロナ禍における組合員宅への訪問活動は控えており、店舗型販売に切り替えております。ただし、組合員のみならず多くは支所から紹介があれば組合員利用者の意向にそった商談方式で対応しております。また、技能資格取得者には技能給を支給しておりますが、令和にじプランでは活力ある職員の育成をめざす人事制度の開始にむけ検討および準備をすすめています。

Q 高齡化や都市化の対策も必要だが、現在の経費に関わる価格高騰により経営面で廃業(離農)などがすすむ状況下において農業経営が継続可能となる対策も重要である。毎年、「農家所得の増大」という言葉は聞くが、所得は低下している。農家と営農部門だけの連携ではなく、すべての部門・組織が農家にむきあい、もつと農家の経営に踏み込み、切実に考えてほしい。

Q 令和3年度の配当分より共済事業の配当基準を長期共済の契約額(満期額)終身額(年金額)から、長期共済および自動車共済の保有ポイント(共済付加掛金)に変更いたしました。これは昨今の保障ニーズの変化により積立タイプから掛け捨てタイプへ契約がシフトしていること、共済種類による配当の公平性を確保すること、また、契約されているより多くの組合員の方に配当することを目的に配当基準を見直したものです。なお、事業分置配当通知書に契約ごとの保有ポイントを表記することは難しいため、令和5年度以降、お問合せいただければ、支所で開示できるようにしてまいりますので、ご理解をお願いいたします。

総務企画部

Q 事業分置配当の共済部門がポイント表示となり、加入している共済との照合ができず分かりにくい、契約ごとの表記はできないのか。

A 令和5年度においても、生産資材コスト高騰への各種対策を実施するとともに、各事業部門・支所が連携をはかり、農家経営や事業承継など、営農とくらしについての相談機能を強化して、農業者のみならず寄り添い、全力でサポートしてまいります。

Q 高齡化や都市化の対策も必要だが、現在の経費に関わる価格高騰により経営面で廃業(離農)などがすすむ状況下において農業経営が継続可能となる対策も重要である。毎年、「農家所得の増大」という言葉は聞くが、所得は低下している。農家と営農部門だけの連携ではなく、すべての部門・組織が農家にむきあい、もつと農家の経営に踏み込み、切実に考えてほしい。

Q 令和5年度においても、生産資材コスト高騰への各種対策を実施するとともに、各事業部門・支所が連携をはかり、農家経営や事業承継など、営農とくらしについての相談機能を強化して、農業者のみならず寄り添い、全力でサポートしてまいります。

Q 高齡化や都市化の対策も必要だが、現在の経費に関わる価格高騰により経営面で廃業(離農)などがすすむ状況下において農業経営が継続可能となる対策も重要である。毎年、「農家所得の増大」という言葉は聞くが、所得は低下している。農家と営農部門だけの連携ではなく、すべての部門・組織が農家にむきあい、もつと農家の経営に踏み込み、切実に考えてほしい。



今月の1枚  
おいしいミルクレープ  
できあがれ!



## 人とのつながりを原動力に



あいさつをする百瀬部会長

野菜部通  
会は2月17  
日、JA松  
本市会館で  
第3回通  
常総会を  
開催し、30  
人が参加  
しました。  
令和5年度はさまざまなコスト増大に対して、生産  
関係者の交流を深め、生産者手取りの確保に向け  
て一丸となって取り組むことを確認。百瀬洋部会長  
は「人と人とのつながりを大切に、困難な時代をと  
もに乗り越えていきたい」と話しました。

## 関係者一体となって取り組む

根菜部会は2月15日、山形支所で第31回根菜部会通常総会を開催し、生産者20人が参加しました。昨年は資材価格の高騰など農家経営に影響する年でしたが、部会員や市場関係者が一体となり手取り確保に努めたことを報告。今年度も更なる品質向上と生産量の維持拡大にむけて取り組んでいくことを確認しました。



拍手で議案を採択する生産者

## みらい塾から8期生が巣立つ

2月17日、「協同活動みらい塾」はグリーンパルで卒業記念講座と卒業式を行い、第8期生18人が出席しました。卒業生は修了証書を受け取ったほか、塾生が1人ずつスピーチ。1年間の講座を振り返り「みらい塾での経験、そして仲間を大切に、学んだことを地域に帰っていかしたい」と今後の抱負を語りました。



スピーチを行う卒業生

## 農家の未来について話し合う

2月2日、第2回農家組合長会をグリーンパルで開き、各支所の農家組合長ら35人が出席しました。日々変化する社会情勢やコロナ禍に対応していくため、より柔軟にスピード感を持って事業モデルの変革をすすめていくことを報告。また、今後の農家組合のあり方について「農家組合の位置づけと活性化」「予算の活用方法」をテーマにグループワークを行いました。農家組合長、常勤役員、職員が6つの班に分かれ「地域の特性をいかし、地域住民の輪を広げていきたい」「農家組合として地域に役立つことを盛り込んだ活動を行ってほしい」など活発な意見を出し合いました。加々美浩会長は「世のなかの変化が激しく、農業を取り巻く環境も刻一刻と変わっているが、地域の仲間と協力しながら乗り越えていくことが大切」と呼びかけ、田中均組合長は「これからを見据えて地域での協同活動を再検討していきたい」と話しました。



グループワークで意見を述べる参加者



## コスト削減にむけた取り組みを

JA松本ハイランドとJAあづみの生産者でつくる松本洋菜部会は2月8日、グリーンパルで第58回通常総会を行いました。部会の代議員やJA役員ら46人が出席。令和5年度は肥料成分の見直しを行った「セルリーECO」の導入など生産コスト削減に取り組みほか、安全安心、品質重視を基本とした銘柄の維持に努めていくことを確認しました。



拍手で議案を採択する出席者

## 産地の維持拡大、そして発展へ

すいか部会は2月20日、第31回通常総会を波田支所で開き、関係者ら23人が出席しました。防除マニュアルの見直しや気象観測システムの活用などで産地の維持拡大と品質向上に努めたことを確認。あわせて、年間を通じて出荷成績のよかった生産者、計7人に優良表彰を、長年すいか栽培に取り組んでいる生産者3人に特別賞を贈りました。



関係者らが議案を採択した

## 青年部が献血ボランティア

青年部は2月2日、グリーンパルで社会貢献活動の一環として献血ボランティア活動を行いました。部員ら29人が400mlの献血に協力。同部の濱幾洋部長は「農閑期に有り余っている若いパワーを地域貢献につなげたいと始めた活動。血液を必要としている方の一助となれるよう、今後も活動をつづけていきたい」と話しました。



献血に協力する青年部員

## 農業を長く楽しくつづけてもらうために

今井支所で1月26日に行った宮農相談会には、若手生産者を中心に20人が訪れました。相談会では、松本市農政課の職員が農業経営者支援を説明したほか、松本太郎果樹生産組合代表の横山竜大さんが農業者としての心構えや成功の秘訣を講演。自身の農業に対するむきあい方から「いいものをつくる。そこに全力でエネルギーを注ぐことで、成功につながる」と助言しました。



横山さんの話を熱心に聴講する参加者

## アクティブに生きよう

女性参画センター運営会議は2月1日、女性組織や女性総代を対象とした研修会をグリーンパルで行いました。38人が参加し、女性参画によるJA運営や協同活動の活性化に向けたグループワークを実施。家の光専門講師でJA全中JAくらしの活動推進アドバイザーの佐久間幸子氏を講師にSDGsを学び、女性目線でなにごでできるのか活発な意見交換を行いました。



グループワークで意見を出し合う参加者

## これからの活躍に期待

管内の若い女性を中心に学びを深め、心豊かで明るい家庭づくりを目的に開講している「若妻大学」は2月13日、グリーンパルで共同研究の発表会と卒業式を行いました。食農教育や地域貢献、子育てなどのカリキュラムを通じ、知識や技術を取得してきた11人に卒業証書を授与。卒業生の稲垣江里奈さんは「畑作業で忙しいときも、仲間がいたから卒業まで通うことができた。共同研究を通して、より一層深まった交流をこれからもつづけていきたい」と話しました。



共同研究の成果を発表



## 親元就農をJAが応援！

2月21日、若手の親元就農者が安心して農業に取り組むことができるよう、JAが独自に支援する「農業後継者支援事業」の令和4年度下期の支援金授与式がグリーンパルで行われました。管内の若手農業後継者1人が支援金を田中均組合長より授与。平成29年度から同事業を始め、これまでに37人の若手農業後継者に就農関連資金や生活資金を支援しています。



認定をうける若手農業後継者

## スイーツ講座part2

親子でいっしょに楽しみながら、食や地元の農産物に興味を持ってもらうようと、2月19日から25日にかけて、3会場で計8回「手作りスイーツ講座」を行いました。142組、294人の親子が参加し、ナガイモとイチゴ、ブルーベリーをふんだんに使ったミルクレープづくりに挑戦。焼き加減に苦戦しつつも、親子で協力してつくりあげました。



ミニクレープ作りに挑戦

## 31字に思いを込めて

夢あわせ大学は2月14日、広丘支所で短歌教室交流会を開催しメンバー9人が参加。塩尻市短歌館の藤森円さんを講師に招き、それぞれ持ち寄った短歌を披露しました。参加した臼井喜子さんは「それぞれの歌に込められた思いなどを聴くことができた。これからも短歌を通じてさまざまな人生観に触れていきたい」と意気込みました。



短歌の極意を学ぶ

## はつらつ大学閉校式

高齢者の生きがい学習の場として開講している「はつらつ大学」は2月15日、閉講式を行いました。学生23人が出席しました。式典では、1年の振り返りや目的別グループの発表会を実施。式典終了後は松本市在住のパフォーマー大道芸人コンビ「ピーナツバター」のお楽しみショーに笑顔あふれる時間となりました。



グループ発表を行う学生ら

## ハウスを教室に

笹賀地区の伊藤勝基さんは2月16日、松本市でさまざまな事情で学校に行けない児童生徒らを支援する「ほっとスペース」の社会見学を受け入れました。子どもたちの興味を広げるきっかけになればと初めて実施。伊藤さんが就農するまでの歩みや花の収穫・出荷方法を紹介したほか、アルストロメリアの収穫と花束づくりを体験しました。



伊藤さんから花の束ねかたを教わった

## 名演に聞き入る

塩尻・広丘女性部は1月18日塩尻会館で第3回楽しい女性のつどいを開催。部員約100人が参加しました。部員の交流と日ごろの疲れを癒してもらおうと県内で活躍している落語家2人を招き、4演目を聞きました。参加者は「はじめて生落語を聞いた。情景が見えるような絶妙な話術にいつしか引き込まれていった」と話しました。



演目に聞き入る部員





## 女性通信員からの話題

女性通信員  
中山寿

### 今年もフアイト!

女性部中山寿支部は1月12日、新春の班長会を行い、部員7人が参加。会議終了後には家の光掲載の紐を使った運動で、冬の間動かさない体の部位をほぐしました。参加者は「リーダーの指示で心地よい運動ができて1年のよいスタートができた」と笑顔でした。



楽しみながら運動する部員たち

女性通信員  
朝日

### 農業に興味をもってね

青年部朝日支部は1月16日、朝日小学校に食育の二環として農業関連の本を寄贈しました。同小学校の給食には地元産の野菜が数多く使用されており、児童からは「とてもおいしい」と好評です。同部員らは「地元産の野菜を食べてすくすく育ててほしい」と期待を込めました。



心をこめて手渡した

女性通信員  
入山辺

### 思いを届けよう

夢あわせの会入山辺支部は1月25日、入山辺交流センターで夢あわせの会総会と清拭布づくりを行い、15人が参加。施設に清拭布を贈ると、部員たちがシーツなどを持ち寄って作業しました。参加者は「出むいの活動は難しいができることをやっていきたい」と話しました。



協力して清拭布をつくろう!

女性通信員  
岡田

### 世界にひとつの作品を

女性部岡田支部は1月30日と2月2日女鳥羽支所でかぎ針編みミニマフラー作りを行い、16人が参加。部員が講師を務め、作り方を教わりながら作品づくりに取り組みました。完成したマフラーは岡田公民館の新春サークル発表に展示し、たくさんの方に見ていただきました。



真剣な表情でマフラーを編む

女性通信員  
神林

### 地域の伝承料理を伝えよう

女性部神林支部は2月4日菅野児童センターでやしよま講座を開催し、同センターに通う親子21人が参加しました。講座では部員が各テーブルに入り、やしよまの歴史を説明しながら調理をすすめました。参加者から「じょうずにできた」と歓喜の声があがりました。



伝承料理を伝える部員たち

女性通信員  
聖南

### 家庭菜園の疑問にお答え!

聖南支所は2月3日、支所協同活動二環として初心者むけ家庭菜園栽培講習会を開き、19人が参加しました。トマトやナス、ピーマンなどの家庭菜園の代表的な作物を中心に、肥料や病気について学習。参加者からは多くの質問が出るなど、有意義な時間となりました。



真剣に講義を聴く参加者

女性通信員  
麻績

### 年齢も寒さも吹っ飛ばせ!

女性部筑北支部は2月6日、ニュースポーツのモルックを楽しみました。麻績地区の部員12人が参加。3人ずつの4グループに分かれて挑戦。プレイ方法や点数のつけ方など最初は戸惑ったものの、慣れてくると熱中し、歓声や笑い声で会場は熱く盛りあがりました。



白熱したモルック

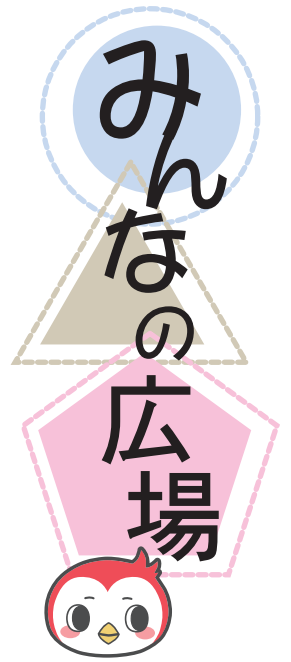
女性通信員  
和田

### みその完成が楽しみ!

2月7日、夢あわせ工房和田で和地区のメンバー6人が集まり、地元産の大豆を使ったみそづくりを行いました。例年は3日間かけてつくっていましたが、コロナ感染防止のため短時間でのみそづくりに挑戦。メンバー同士協力しあって作業をすすめました。



手際よくみそ加工を行う参加者



## 農政運動のあゆみ

### JA松本ハイランド管内行政との懇談会を開催

今年度もJA松本ハイランド管内の行政(3市5村)との懇談会を開催し、来年度の農業方針や支所農業振興策(地域農業振興ビジョン)について意見交換を行いました。また、「地域の課題」についても懇談事項とし、地域の担い手不足や労働力不足、有害鳥獣対策、米の消費拡大にむけた対応など、それぞれの地域が抱えるさまざまな課題について、共有し、今後とも行政とJAが協力して取り組むことを確認しました。



## 福祉だより

### 楽しく過ごせる施設をめざして

ゆめの里朝日宅老所は朝日村にある東京電力パワーグリッド新信濃変電所の近くにあり、普段は松本市街を一望できます。しかし、一面レタス畑という自然豊かなところですので春先は季節の風物詩となっている砂嵐でなにも見えなくなってしまうこともあります。



令和4年3月に地域密着型から通常規模型へ業態変更を行ったため、定員が14名から19名になり、とてもにぎやかになっています。曜日によっては、男性が多い日もあります。

午前中は入浴が中心となりますが、午後は天候により外出したりもします。また、施設の行事や季節にあわせた食事を用意し、1日を楽しく過ごしてもらえるよう心がけています。

今後も感染予防対策を行いながらみなさまに楽しんで過ごしていただけるよう、職員一同努めてまいります。

\*施設見学体験利用者も随時受け付けておりますのでお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ

ゆめの里朝日宅老所 ☎0266-99-5009

## 笑顔の花咲く女性たち

女性通信員 島立

### 手作りお手玉で遊ぼう！

女性部島立支部は2月17日、堀米保育園の園児に女性部員が手づくりしたお手玉を贈りました。子どもたちに昔ながらの遊びを忘れないでもらいたいという思いから寄贈をスタート。部員からお手玉を使った遊び方を教えてもらうと、頭にのせたり、上になげたりしながら全体を使って夢中になって楽しみました。園児たちは、「お手玉おもしろいね」「おうちでママにも教えてあげる」と話しました。



お手玉遊びを楽しんだ

### 今年のイチオシはうさぎ柄!?

女性部新村支部は1月18日、メンバーを講師に今年の干支であるうさぎとチューリップ柄のやしうまつくりを行いました。うさぎの口元や目元などにひと工夫することで変化する表情や、切込みの入れ方で変わるチューリップのかたちなど、できあがり想像しつつ挑戦。カボチャや赤大根など自然の食材を使って色づけし、優しい風合いに仕上げました。和気あいあいと教えあいながら作業し、かわいらしい作品が完成しました。



完成したやしうまを前にパシャリ



# マイホビー

## わら細工が繫いだ 絆を胸に

女鳥羽・岡田町 北原健二さん



「刈りたてのわらの青い色がうまくなることも清々しく、きれいなんだよ」とわら細工を見つめながら語る北原さん。5年ほど前から、稲わらを使ったわら細工づくりを始めました。「幼いころに祖母に教わってわらざうりをつくったことがあって、そのころから興味があったんだ。近所にわら細工のサークルがあることを知ったときには、すぐに申し込んだよ」と笑顔です。これまで、わら細工づくりの先輩方から教わりながら、猫つぐらやおひつ入れ、円座などを制作。「初めてつくるものは、指導者の隣に座って手元を見ながら覚えていく。しっかりと編み方を覚えるために、何度も同じ部分を編んで練習して、二つと自分か納得できるようにしてから次の段階へすすむんだ。とにかく根気がいる作業だね」と話します。毎年年末には、近隣の神社に飾る大きなものから自宅用まで、仲間といっしょにしめ縄づくりにも励む北原さん。4人がかりで編む大作に挑むこともあり、崩れないよう固く編み込むために力をあわせて取り組みます。「作品づくりはどんなものでも大変だけれど、完成したときの達成感がたまらないんだ。人が見て『きれいだね』と言ってもらえたらうれしいし、やる気にもつながるよ」とほほえみます。

現在はわらでつくる靴「こんぞ」の制作に挑戦中。「この地区にはわら細工づくりが上手な先輩がたくさんいて、つくりたいものがあると指導してくれるから、とてもありがたいよ。『こんぞ』づくりも教わりながら、少しずつ編み方を覚えていくところなんだ。完成させる日が楽しみだよ」とわら細工が繫いだ絆を胸に、今日も作品づくりに打ち込みます。



自慢の作品の数々

## ハイランドキッズ

山形・中大池

上條 結菜ちゃん(10歳)

雅治くん (8歳)

詩織ちゃん (5歳)

- (父) 政彰さん
- (母) 由梨さん
- (祖父) 幹城さん
- (祖母) ふさ子さん

おじいちゃんとおばあちゃんといっしょに畑のお手伝いをしたよ!お父さんのつくるナガイモはとってもおいしいんだ



家族からひと言 健康に姉弟仲良く育ててね

スクールバンドでトランペットを吹いているよ。最近では千本桜を練習しているよ。

お姉ちゃんと Snow Manをよく聴くんだ。将来は保育園の先生になりたいな。

バレーボール大好き!お父さんも昔、習っていたんだって!



## みんなの声

■支所に相談に行き、担当の方が親身になって、難しい内容も分かりやすく説明してくださいました。大きな不安も和らぎ、本当にありがとうございました。ありがとうございます。

(中山寿／河西朋美さん)

■組合員セミナーの小平奈緒さんの講演会に参加しました。いつも前向きな姿勢で何ごとにも全力。わたしもそんな日々を送りたいと刺激になりました。ありがとうございます。

(生坂／生坂のおーちゃん)

■女性部30周年記念コンサート、組合員セミナーの小平奈緒さんの講演会、とても楽しく、感激しました。早くコロナが落ち着きいままです。生活ができるよう願うばかりです。

(波田／船坂善子さん)

■初詣で今年の願いを届けました。「行動できることはすべてにおいてそれをなす」ということです。体のあちこちに不都合はありますが、できることはすべてに挑戦することです。必ずしも上手くいかないのが世の中。知りつつも、年初の誓いしました。

(芳川／小松博夫さん)

■今年のお正月は3年ぶりに孫に会うことができました。楽しいひとときを過ごすことができました。

(聖南／鎌田初江さん)

■広報誌「夢あわせ」のみんなの声でなつかしい方の名前を見つけました。さっそくメールしてみました。「口ナで遠のいてしまっていたので、うれしかったです。」

(広丘／徳原久子さん)

■フォトコンテストの写真、どの作品もすばらしいです。1枚の写真からいろいろなことが想像できます。

(松本／コロんさん)

■農業を楽しく行っているみなさんの情報が掲載されている広報誌「夢あわせ」を毎月楽しみに読んでいます。

(四賀／久保田洋子さん)

■広報誌「夢あわせ」の夢あわせショップが大好きです。エコーコープ「野菜と食べるらくめん」が大好きです。

(朝日／羽多野千恵子さん)

■JA松本ハイランドのファーマーズガーデン各店舗に出かけ、おいしいものを探してドライブするのが楽しみです。特産品などうれしいですね。

(塩尻／足助恵美子さん)

■温泉に行きました。露天風呂の近くにサルの家族が入りたそうにこちらを見ていました。人がいないときは入っているのかなあと思いました。

(明科／平林静恵さん)

■寒い夜にカーテンの隙間から見える月の光にさみしさを感じます。冬の夜は長くも静かな時間が流れます。

(麻績／SORAさん)

## ゆめピーちゃんの 一問一答！ Vol.9



**Q** 車を買いました。自動車共済はどうすればよいですか？

**A** すでにご契約いただいている自動車共済の車両入替が可能かどうかご確認いたします。車両入替が可能な用途車種の自動車を新たに取得された場合には、ご契約者本人または同居の3親等以内の親族が車両入替の手続きをすることにより、新たに取得された自動車にご契約を引き継ぐことができます。すみやかに近隣の各支所金融共済課にお申し出ください。

質問をお待ち  
しています

JAに対して疑問に思っていること、知りたいことなどみなさまからの質問にゆめピーちゃんがお答えします。左記プレゼントクイズの宛先へご質問や疑問などをお知らせください。

## JAいしのまき通信

姉妹JA「JAいしのまき」からの旬な情報をお届け！



### 国内資源の活用へ

## JAいしのまき産稲わら鹿児島へ出荷

JA全農みやぎとJA鹿児島経済連は広域耕畜連携にむけ、国内に偏在する資源を効率的に使おうと、稲わらとたい肥を流通させる実証を本年度からはじめました。国産資材の有効活用と、安定供給を図り広域的な循環型農業を行うことが目的。全国でも珍しい長距離の連携がスタートしました。

2月9日、石巻市蛇田の西農業倉庫敷地内で関係者ら約50人が参加し「鹿児島宮城堆肥ペレット・稲わら広域流通出発式」を行いました。JAいしのまき産の稲わら4.4トンを出荷。3月上旬までに140トンを鹿児島に届けます。鹿児島からはたい肥ペレットが出荷され、3月までに60トンが宮城県に届く計画です。

稲わらは鹿児島県内の畜産農家に供給され、たい肥ペレットはJAいしのまき、JA新みやぎ、JA古川での飼料生産に利用。JAいしのまきでは、広域流通の「耕畜連携」によるたい肥ペレットの活用で化学肥料の削減と稲作農家の収入増加につなげる考えです。

稲わらの出発を見送る関係者ら





## Instagram フォロー&いいね! キャンペーン



応募期間

3/9(木) ▶ 3/19(日) 23時59分まで

ゆめピーちゃん  
オリジナルポーチを  
30名様に  
プレゼント!



\*キャンペーン応募の詳細は、3月9日のJA松本ハイランド公式Instagram(mhl\_yumep)の該当キャンペーン投稿をお楽しみに!

応募方法

**STEP1** JA松本ハイランド公式Instagramをフォロー  
【mhl\_yumep】

**STEP2** 該当キャンペーンの投稿に「いいね」

\*すでにフォローいただいている方はSTEP2からご参加いただけます



JA松本ハイランド  
公式Instagramは  
コチラ!



## プレゼントクイズ

クイズに答えてプレゼントをもらおう!

**問題** 営農生活●●●●集会  
意見要望事項への回答

●に入ることばを答えてね。

ヒントは6ページ、特集2!



## 今月のプレゼント

### まごころ商品券

(3,000円分)を1名様にプレゼント



390-8555

(住所不要)

JA松本ハイランド  
「みんなの声」係

- クイズの答え
- 住所・氏名・年齢  
職業・電話番号
- 身近なエピソード  
イラストなど
- 本誌・JAへのご意見  
・ご要望、参考になった  
・ならなかった  
コーナーなど

みなさんの声を  
ひと言添えて  
ください

■2月号のクイズの答え インボイス

■1月号の当選者

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

■応募の締切 令和5年4月10日(月) 消印有効

Eメールでもお気軽にどうぞ。kouhou@mhl.nn-ja.or.jp

**お便りをお待ちしています!**

身近なエピソード、地域の情報、イラスト、短歌・俳句、赤ちゃん・ペットの写真など、どしどしお寄せください。また広報誌各コーナーへのご質問や感想などもお寄せください。

※作品・写真は返却できません。お便りは、誌面に掲載する場合があります。

※応募で記載された個人情報「みんなの声」への掲載、プレゼントの抽選・当選者発表以外には利用いたしません。

## わたしたちのJA

### 理事会だより

令和5年2月27日・グリーンパル 西館

#### ■協議事項

- ①税効果調整積立金の取り崩し
- ②リスク調整積立金の対応
- ③令和5年度内部監査計画
- ④令和5年度子会社の事業方針および事業量計画  
ならびに収支計画の設定
- ⑤女性活躍推進法に基づく行動計画の策定
- ⑥組合と理事の利益相反取引
- ⑦令和5年度貸出金利の最高限度額の設定
- ⑧令和5年度借入金の最高限度額の設定
- ⑨令和5年度同一人に対する信用供与等の最高限  
度額の設定
- ⑩令和5年度余裕金年次運用方針
- ⑪令和5年度余裕金運用に係る損失限度額の設定
- ⑫令和5年度余裕金運用に係るロスカット基準の設定

- ⑬2月支所運営懇談会の意見に対する回答
- ⑭野菜生産安定基金令和4年度取崩しおよび加入
- ⑮出資口数の減少
- ⑯令和3年度産米の精算
- ⑰令和5年度産米に対するJAとしての基本方針

#### ■報告事項

- ①令和5年度第一次人事異動
- ②第3四半期随時監査における監事の提言
- ③みのり監査法人期末I監査の受け入れ
- ④令和4年度第4四半期棚卸監事監査の実施

- ⑤令和4年度第4四半期監事監査の実施
- ⑥コンプライアンスプログラムの取り組み状況
- ⑦固定化債権回収状況
- ⑧1月末事業実績・決算結果および令和4年度末決  
算推定
- ⑨令和5年3月～令和6年3月の長期予定
- ⑩余裕金の運用状況および次月余裕金運用計画
- ⑪令和5年度第1四半期余裕金運用方針
- ⑫肥料価格高騰対策事業(国・県・市町村)

#### JAの状況 令和5年1月末現在

正組合員数	24,208人	貸出金	901億1千万円
准組合員数	16,258人	農産物販売高	187億5千万円
貯金	4.034億3千万円	購買品利用高	117億円

# \\ 知っておこう! //

## 消費税インボイス制度



令和5年10月1日から消費税インボイス制度が始まります

今回は卸売市場・JAへの出荷であっても特例とならない取引、およびJAの直売所での対応がどのようになるのか解説していきます。

### 1 卸売市場特例・農協特例とならない取引について

#### 市場特例とはならない取引

卸売市場への出荷であっても、卸売業者等が競りを介さず直接買い付けした場合、市場特例とはならない場合があります。

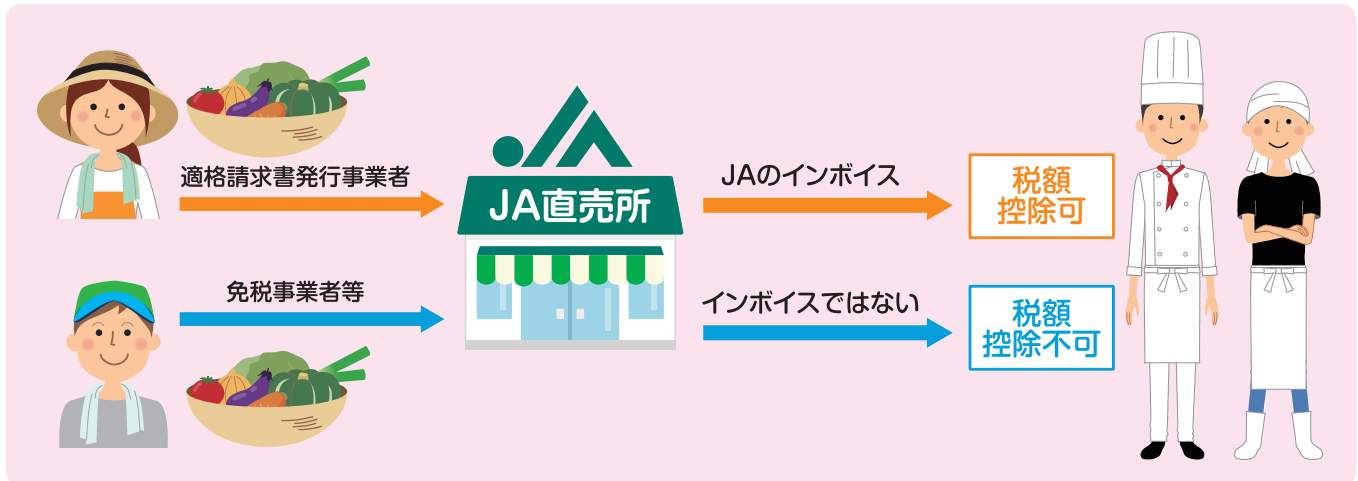
#### 農協特例とはならない取引

市場を介さない取引のうち、**組合員以外**からの出荷がある取引のほか、買い手と売り手が紐づくものや、販売金額が明示されるなど、無条件委託販売、共同計算を満たさない取引は農協特例とならない場合があります。

これらの特例対象とならない取引については、現在、JAにて調査をおこない、関係者と対応を検討中です。

### 2 直売所でのインボイスの取り扱いについて

直売所に出荷いただいた農産物については、先にご紹介した卸売市場特例、農協特例の対象とならないため、媒介者交付特例により、インボイスを必要とされるお客様に、JAが代わりにインボイスを発行することを検討しております。この場合、適格請求書発行事業者以外の方についてはインボイスを発行できないため、JAが代わりにインボイスを発行することができません。



インボイスを必要とするお客様は、インボイスを発行できない農産物の購入を避けてしまう可能性があります。直売所でご購入いただくお客様は、インボイスを必要としない一般消費者の方がほとんどであるため、大きな影響はないものと判断しております。

本説明は消費税およびインボイス制度の概要を簡略的に説明する目的で作成しています。制度の詳細な内容は必ず、税務署またはご自身の顧問税理士にお問合せいただくようお願いいたします。



#### お知らせ

令和4年12月23日に「令和5年度税制改正の大綱」が閣議決定され、令和5年9月30日までのインボイス登録番号の申請についても、インボイス制度が開始する令和5年10月1日を登録開始日として登録される方針が示されました。

#### お問い合わせ

営農部営農企画課 ☎29-0394



# 「地産地消」「国消国産」で

## 食卓からSDGsを始めよう。

### 日本の食と農、SDGsの実現のために「地産地消」「国消国産」

#### 私たちが地域でできること

##### —「地産地消」

日本の食と農、SDGsのために、地域でできる取り組みが「地産地消」。その地域で生産された農畜産物を、その地域内で消費することです。例えばファーマーズマーケットを利用すれば、新鮮な地元の農畜産物に出会えます。また、食材の長距離輸送にともなうCO<sub>2</sub>の排出削減につながり、環境への負荷を減らせます。

#### 日本の食と農を未来につなぐ

##### —「国消国産」

「地産地消」をはじめ、国産の農畜産物を消費することで、食の安心をすすめていくこと。それが「国消国産」。国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産するという考え方です。日本の食料自給率はカロリーベースで37%、6割を輸入に頼っており、このままでは、いざという時に心配です。生産者は今、消費者ニーズに応える農畜産物づくりに取り組んでいますが、日本の食を守るためには、国産農畜産物をもっと食べて、農業を応援していくことが重要です。

#### 持続可能な社会を

##### —SDGsにつながる「国消国産」

このまま日本が国内生産を増やさず、食料を海外に依存し続けられたらどうなるか。安易に途上国から輸入をすることで、その国の食料を奪う可能性はないのか。「地産地消」「国消国産」をすすめることは、持続可能な食料、農業、地域社会、環境など、SDGsの実現に貢献します。またJAグループは、子ども食堂への食材提供、農業従事者への各種支援、フードロス削減など、さまざまな活動を展開し、SDGsの達成を目指しています。

#### 10月16日は「国消国産の日」

10月16日は1945年に国連食糧農業機関（FAO）が発足した日です。国連はこの日を「世界食料デー」に定め、JAグループは「国消国産の日」として日本記念日協会に登録しました。JAグループは皆さんと共に「国消国産」をすすめ、持続可能な社会の実現を目指していきます。

### 地産地消

- 地域で生産
- 地域で消費
- 「食」や「農業」の理解
- 食料自給率の向上
- 地場産への愛着心や安心感

#### 例えば私たちにできること

- ファーマーズマーケットを利用する



地域で

### 国消国産

- 食料安全保障
- 食料自給率の向上
- 生産基盤の維持・拡大
- 次世代の担い手確保
- 多面的機能の維持・増進
- 環境負荷に配慮した農業
- ごはんを中心とした日本型の食生活

#### 持続可能な地域 農業地域社会づくり

- 国産農畜産物を選んで食べる
- ごはん(お米)をもっと食べる

日本で

### SDGs 持続可能な開発目標

#### 〈JAグループの取り組み〉

- 「飢餓をゼロに」
- 子ども食堂やフードバンクへの食材提供
- 「働きがいも経済成長も」
- 農業従事者への各種支援
- 「つくる責任つかう責任」
- フードロス削減
- エシカル消費の推進
- 農業生産における環境負荷の軽減 など



「国消国産」はSDGsの達成に貢献

世界に

JAグループサポーター・林修



## 4月～10月の営業時間のご案内

- 一般業務 8:30～17:30(土日、祝日は休み)
- 金融窓口業務 9:00～15:00(土日、祝日は休み)

### ■ 生産資材窓口

支所	平日	土曜日	日曜日・祝日
JAファーム今井	8:30～18:00(3月は8:45～17:00)		
あぐり資材センター和田	8:45～17:00		
あぐり資材センター山辺	8:45～17:00		8:45～12:00
あぐり資材センター寿	8:45～17:00	8:45～12:00	
あぐり資材センター筑北	8:45～17:00	8:45～12:00(6月以降の日曜日・祝日は休業)	
あぐり資材センター川手	8:45～17:00	8:45～12:00(4月・6月・7月・8月は休業)	
山形	8:45～17:00	8:45～12:00	
波田	8:45～17:00	8:45～12:00(祝日は休業)	
朝日	8:00～17:00	8:00～17:00(4月22日までの土曜日は8:00～12:00、日曜日は休業)	
塩尻	8:45～17:00	8:45～12:00(3月18日から、祝日は休業・5月の祝日は別途対応)	

※上記以外(島内、島立、神林、笹賀、芳川、女鳥羽、四賀、松本)は平日のみ営業(8:45～17:00)

※5月・8月の実地棚卸日は、全生産資材窓口が休みになります。また、営業時間が変更になる場合があります

### ■ 給油所・配送

給油所・配送基地名	平日・土曜日	日曜日	祝祭日
島内		7:00～22:00	
松本臨空		7:00～21:00	
今井		7:00～20:00	
北小野		7:00～20:00	
波田		7:30～19:00	
山形	7:30～18:30	7:30～13:00	7:30～17:00
麻績	7:00～19:00	8:00～17:00	
笹賀	8:00～18:30	休業	
山辺・東部配送	8:30～17:30	休業	
聖南・筑北配送	8:00～18:00(休曜日・休金曜日は19:00まで)	8:00～17:00	
片丘・塩尻配送	8:30～17:00	休業	9:00～13:00
朝日・朝日配送	8:00～18:00	休業(祝日の火曜日は8:00～18:00まで)	
中西部配送	8:30～17:30	休業	8:30～17:30
四賀・川手配送	8:30～17:30	休業	8:30～17:30

※大型連休の営業日はその都度決定します。

### ■ 農機・工機・自動車センター

8:30～17:30(日曜、祝日は休み)

※繁忙期対応:5月初旬から5月中旬ごろと9月中旬から10月初旬ごろ、各支所(各地区)の実情に沿った期間を設定して対応いたします。繁忙期対応期間中は休まず営業いたします。

## GW期間中の営業時間について

GW期間中は営業時間や定休日に変更となる場合があります。詳しくは来月号の広報誌「夢あわせ」にてお知らせいたします。



2023  
農機・自動車

## 春の商談会開催!

日時

3月24日(金) 9:00～16:00

25日(土) 9:00～15:00

場所

「あぐり資材センター和田」前広場  
「工機センター筑北」

農業機械値上がり前の最後の商談会です。

ご購入を検討するならいまがおすすめ!

ぜひお気軽にお立ち寄りください。



## 山辺ワイナリーだより

3月に入りまして、少し陽気も暖くなり自社ぶどう畑の剪定作業がはじまりました!

今年もいいぶどうが収穫できるように品質向上に努めて参ります。

醸造部門では現在新製品の制作に力を注いでおります。内容につきましてはまだ公開できませんが、楽しみにお待ちくださいませ。(発売日未定) ワインショップでは、年代幅広いワインを取り揃えております。

ぜひお立ち寄りください。

※1月～3月まで木曜日定休(直売所・レストラン・ワインショップ)

2022  
ロゼ甘口  
(店舗限定)

2022  
ナイアガラ甘口



3月の  
おすすめ  
ワイン



## 緊急連絡先

市外局番は全て0263となります

■自動車共済事故受付(24時間・365日)  
☎0120-258931

■プロパンガス(24時間対応)  
☎26-3015

■葬儀(24時間受付)  
JA虹のホール 芳川:☎85-0022  
岡田:☎45-0700  
はた:☎92-3414  
筑北:☎67-1155



塩尻地区葬祭直通携帯:090-4833-5040

■CDカード(キャッシュカード)  
夜間・休日事故受付  
☎0120-024040

■JAカード(クレジットカード)事故受付  
☎0120-159674(24時間対応)

■ENEOSカード(クレジットカード)  
紛失・盗難受付(24時間・365日)  
TS3(トヨタファイナンス)

☎052-239-2811

NICOS(三菱UFJニコス株)

☎0120-159674

## くらしの連絡先

■灯油の定期配送  
中西部配送基地 ☎47-0105  
東部配送基地 ☎36-5206  
四賀・川手配送基地 ☎64-4560  
筑北配送基地 ☎66-3939  
朝日配送基地 ☎99-2018  
塩尻配送基地 ☎52-0346

■料理の注文  
支所営農生活課

■JAまごころ宅配の注文変更・休止など  
生活購買センター  
☎0120-157118

■塩尻支所くらしのセンター  
(塩尻地区葬儀含む) ☎53-5350

■家電製品の注文・修理  
LPガス住設課 ☎26-3015

## CAV テレビ松本

毎日  
放送中!!

JAお知らせ番組(15分)

「JA松本ハイランド情報」

6:45、7:30、12:00、18:30、23:30

※変更となる場合があります

JAのホットな話題をお茶の間に!

JA企画番組「JAグリーンタイム」

毎月第一週(日を除き毎日放送・各15分)

※変更となる場合があります

9:30、13:30、18:30、22:30

## 米・KOME通信

令和4年産米の出庫状況

(令和5年2月20日現在)

集荷数量 199,058.5俵

出庫数量 44,919.5俵

出庫率 22.6%

# JAカレンダー

3月17日～4月17日

※新型コロナウイルスの感染状況により、中止・延期とさせていただきます。

## ■くらしを応援! みんなの相談会

3	22日(水)	土地建物相談会(グリーンパル東館1階、13:30～17:00、要予約)
	6日(木)	年金相談会(明科支所9:30～15:30)
4	12日(水)	土地建物相談会(グリーンパル東館1階、13:30～17:00、要予約)
	14日(金)	年金相談会(麻績支所9:30～15:30)

※虹のホールへ相談を希望される方は、各施設にご連絡ください。

お問い合わせ 土地建物相談会は資産相談課 ☎88-1314  
土地建物相談会 塩尻地区の方は資産相談課広丘支所駐在 ☎53-4781  
年金・相続相談は総合相談センターライフサポートプラザ ☎46-1562  
年金相談会は各支所金融共済課(年金相談会へ出席される場合は事前にご予約ください)

## ■お気軽にお越しください! JAおすすめイベント

3 18日(土) 春のお彼岸フェア(~24日、ファーマーズガーデン各店、畑の彩り館きろろ、新鮮市場ききょう)

## ■組合員組織・生産部会などの予定

3	17日(金)	ファーマーズガーデンあかしな通常総会 夢あわせの会通常総会
	22日(水)	青年部総会 ファーマーズガーデンやまがた通常総会
	23日(木)	ライスセンター連絡協議会 全農中信事業所JA園芸事業推進協議会役員会
	24日(金)	ファーマーズガーデンうちだ通常総会
	28日(火)	畑の彩り館きろろ通常総会
4	29日(水)	水稻採種部会通常総会
	5日(水)	園芸正副部会長会議
	6日(木)	第1回農家組合長会

## JAファーム今井だより

日ごろからJAファーム今井にご愛顧を賜りありがとうございます。

春の到来とともに、JAファーム今井にも農作業用品、園芸用品、作業衣料ほか、この春おすすめの商品が満載です。 スタッフ一同、ご来店を心よりお待ちしております。

セール  
のお知らせ

## 春の農作業応援セール!

3月17日(金)～3月21日(火)

春のお花、特選農業資材、園芸資材など春一番の価格でご奉仕!!

※新型コロナウイルス感染症防止のため、中止とさせていただきます

お問い合わせ JAファーム今井 ☎59-1088

定休日 3月～10月 無休※棚卸日除く

旬・感  
グッキング

## ブロッコリーの炊き込みごはん

### 材料(4人分)

ブロッコリー—1個(200~250g)  
米—1合  
A { コンソメ(キューブ)—2個  
バター—10~15g

A { ツナ缶—1缶  
コーン—100g

### 作り方

- ①米を洗い、2合の目盛りまで水を入れる
- ②Aの材料をすべて釜のなかに入れ、平らにする
- ③ブロッコリーは房に分けず、そのまま洗う。軸の長い部分を切り、釜のなかに入れ、炊飯器で炊く
- ④炊きあがったら、ブロッコリーを崩しながら全体を混ぜる。



## ブロッコリーのごまあえ

### 材料(4人分)

ブロッコリー—1個(200~250g)  
白すりごま—大さじ2と1/2  
めんつゆ(2倍濃縮)—50cc  
水—50cc

### 作り方

- ①ブロッコリーを1口大の小房に分ける
- ②①を蒸すか、かためにゆでて、水を切り、風に当てて粗熱をとる。熱がとれたらボウルに入れる。
- ③めんつゆに水を加え、②と混ぜる。
- ④白すりごまを加え、混ぜる。

今月の  
レシピ提案者

作り方動画



### ブロッコリーの主な栄養素と効果

β-カロテンとビタミンCが豊富で、抗酸化作用を発揮し酸化ストレスを軽減することで、生活習慣病や老化性疾患の予防効果が期待できる。そのほか、赤血球の形成を助ける葉酸や骨の形成を助けるビタミンKなどビタミンやミネラルをバランスよく含む。



### 島立・町区 村山 美寿子さん

洗って材料を入れるだけなので、とっても簡単!忙しい日にもおすすめです。炊き込みごはんはブロッコリーが苦手な人でも食べやすく、まるごと炊くので栄養を一つも逃しません。ごまあえは食べる直前にごまをふりかけると香りまで楽しめますよ。

**松本ハイランド 農業協同組合**

〒390-8555 長野県松本市南松本1-2-16 TEL.0263-26-1400 FAX.0263-27-6621  
https://www.ja-miijan.or.jp/ ✉kouhou@mhl.nn-ja.or.jp

国産農産物を大切に!

スマートフォンで  
アクセス